

緩 和 ケ ア 便 り

平成29年6月16日(金)に**第1回 緩和ケアセミナー**が行われます。本セミナーは6回シリーズでの開催を予定しております。緩和ケアに関心がある方、もう一度緩和ケアについて学んでみたい方、緩和ケアの知識を実践に活かしたい方などを対象としております。臨床に活かせる内容を主軸として企画しました。

沢山の方々のご参加をお待ちしております。

【プログラム】 18:00～19:30

- 第1回 緩和ケア概論(武田医師)
- 第2回 臨床倫理・意思決定支援(武石看護師)
- 第3回 がんによる疼痛・薬物療法(遠藤薬剤師)
- 第4回 がんによる疼痛以外の症状(武田医師)
- 第5回 鎮痛、看取り、グリーフケア(奥山看護師)
- 第6回 事例検討

＜最近のFacebook いいね！ホロってくるかも？By.猫＞

幸せな人は辛さを知っているから優しくなれる、強くなれる
 大丈夫はぜんぜん大丈夫ではない証拠
 よく大丈夫という人は、よく無理をする人
 よく笑う人はよく泣いた人
 よく強がる人は、よく我慢する人
 我慢できなかつたら、我慢なくていい
 努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る
 幸せな人は辛さを知っているから優しくなれる、強くなれる

平成29年6月16日(金)18:00～「緩和ケア概論」

医師/武田郁央

- 「緩和ケア」とは？を、90分ではお伝えするのが難しい内容を、分かりやすく、臨床の現場をイメージしやすい内容でお話いたします。
- 緩和ケア概論では医療における基本的な考え方や医療従事者としての役割などを再認識する機会になると思います。「概論」というと難しいイメージですが、第2回以降のセミナーにも共通する内容ですので、基本をしっかりと確認していきましょう。

平成29年8月4日(金)18:00～「臨床倫理・意思決定支援」

看護師/武石優子

- がんが診断された患者・家族には治療を受けるために、多くの情報が提供され、内容を理解・納得して治療を選択するという経緯をたどります。「良く分からないから先生に任せる」という患者もいますが、これも意思決定の1つです。患者・家族が治療選択までにどのように考え決定したのかを知ることで、医療従事者の介入の内容も違ってきます。一緒に考えてみませんか。

平成29年10月27日(金)18:00～「がんによる疼痛、薬物療法」

薬剤師/遠藤智子

- がんの疼痛に対する薬物療法は、臨床の現場で実践されていることですが、今一度、疼痛のアセスメント、適切な薬剤の使用、薬剤を使用するタイミングなど再確認していきます。
- 緩和ケアチームの一員として入院中患者の痛みに対応するために、患者の話を聞き、患者にとってベストな薬剤の選択を検討・提案している薬剤師としての実践から学びを深めていきませんか。

平成29年12月8日(金)18:00～「がんによる疼痛以外の症状」

医師/武田郁央

- がんは疼痛だけではなく、他にも患者にとってつらい症状が出てくる場合があります。
- 疼痛以外のつらい症状を、どのようにアセスメントし、対応していくのかを学び、考えていきたいと思えます。対応方法は1つではありません。担当した患者の訴えや症状を思い出し、日々の実践を振り返りながら学んでみませんか。

平成30年1月12日(金)18:00～「鎮静、看取り、グリーフケア」

看護師/奥山奈穂子

- 鎮静、看取り、グリーフケア、どれも関心はあるけど、どうしたらいいのかわからない。みんなはどう対応・実践しているのかわかりたい！という声にお答えします。
- 麻薬では対応できない苦痛、どう亡くなっていきたいかなど、患者・家族、遺族との関わりの経験を参加者の皆さんと共有しながら、一緒に考えていきます。

【研修会・研究会のお知らせ】

- 2017年 9月16日(土)、17日(日) 平鹿総合病院 緩和ケア研修会
- 2017年10月7日(土)8日(日) 日本死の臨床研究会(秋田市内での開催です)

痛みや症状コントロールなどのご相談がありましたら、緩和ケアチームへご連絡ください。